2022 11.20 (日)

■当日受付 10 時
■小田急多摩線
はるひ野駅南口 集合
■参加費無料

作品解説付きアート散策ツアー

アーティストと共に展示ルートを巡り、
作者本人による作品解説を行います。

※ 写真は過去の作品及びツアーの様子です。

12

2022 11.05 (土) 19 (土)

■12 時半 − 14 時
■会場：ルートマップ（3ページ）
作品 №12近く
■参加費無料
「飲料入り蓋付きアルミ缶」持参
■先着 15 名

持ち物 /「飲料入り蓋付きアルミ缶」、あれば「タオル」「軍手」

「やまんば」によるワークショップ

「エコカフェ」秋の陽、太陽光で飲み物を温めて エコカフェを楽しみましょう！

たとえ外気温が低くても、風が吹いても、
太陽の光があれば OK！
持参したアルミ缶の外側に工夫して温めます。
お湯が沸く間に竹のカップ作りにもチャレンジできます。

※ 雨天の場合の予備日：11 月 6 日（日）、 11 月 20 日（日） 予備日雨天の場合は中止。

3

2022 11.13 (日)

■14 時 − 15 時

「WANI」ライブパフォーマンス

サクラの広場（ルートマップ 作品 No.3）で
ライブパフォーマンスを行います。

黒川里山アートプロジェクト
緑と道の美術展 in 黒川 2022

黒川里山アートプロジェクト
緑と道の美術展　in黒川 2022
2022 年 11 月 1 日 [火] ～ 11 月 30 日 [水]

Kurokawa Satoyama Art Project
Open Air Art Exhibition in Kurokawa 2022
November 1 Tue — November 30 Wed，2022

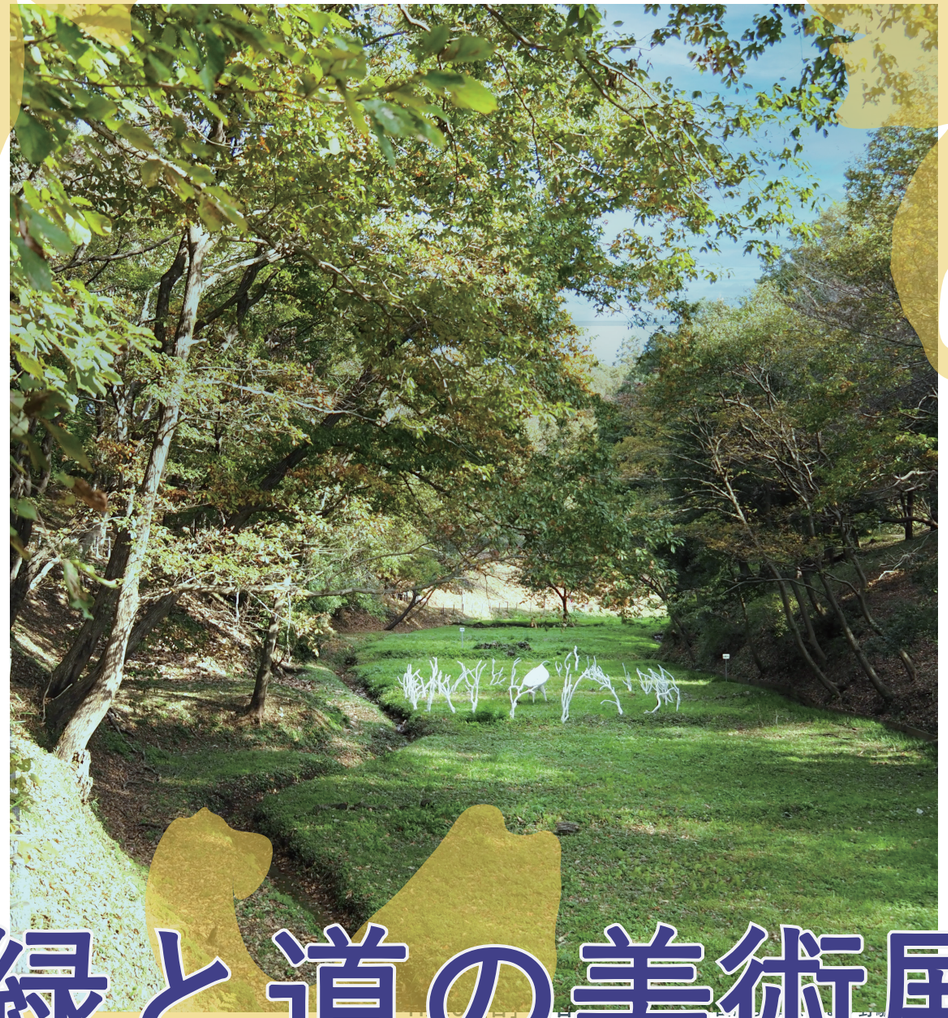
発行日：令和 4 年 11 月 1 日
主　催：黒川緑地管理協議会、緑と道の美術展出品作家実行委員会
協　力：川崎市、明治大学・川崎市黒川地域連携協議会、㈱ UR リンケージ、多摩美術大学、東京造形大学、多摩市
後　援：NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり、川崎・麻生観光協会
協　賛：多摩美術大学校友会
問合せ：緑と道の美術展出品作家実行委員会（info@midoritomichi.art）

パンフレットデザイン・制作：門崎 未散　（多摩美術大学 美術学部 環境デザイン学科 4 年）

美術展HP は
こちらから

Kurokawa Satoyama Art Project　Open Air Art Exhibition in Kurokawa 2022
黒川里山アートプロジェクト

しんゆり・芸術のまち



緑と道の美術展

in 黒川 2022

2022 11.01 (Tue) - 2022 11.30 (Wed)

美術展 HP

写真：昨年度展示作品　間地紀以子「天の舟」

黒川里山アートプロジェクト

緑と道の美術展 in 黒川 2022

Kurokawa Satoyama Art Project

Open Air Art Exhibition in Kurokawa 2022

黒川 里地里山の美術展へようこそ

多摩丘陵の緑豊かな里山に、
アーティストたちの作品が1ヶ月間展示されます。
秋の日差しのもと、ルートをたどりながら、さがしてみてください。
ここはトンボが飛び交い、湧き水があり、
小さな生きものたちもくらしています。
さまざまな多くの命との出会いがあります。

里地里山は長い時間をかけて人々が自然と共に生活することで
多様な動植物の生態系が維持されています。
黒川緑地地域は2015年に環境省の「生物多様性保全上
重要な里地里山」（500か所）に選ばれています。

本展覧会は2016年より始まり、今回で7回目となりました。
今年も新型コロナウイルスへの感染防止対策を行ないながらの
開催となります。

緑地の自然の中で、心や体が元気になる
アート散策をお楽しみください。
心よりお待ちしております。

Welcome to the Satochi Satoyama Art Exhibition in Kurokawa

Artists' work will be displayed among the rich natural satoyama landscape of Tama Kyuryo (Tama Hills) for a period of one month. Enjoy walking under the autumn skies while discovering the artwork along the route.
Here, you will encounter various forms of life including teams of dragonflies, fresh springs, and small creatures thriving in their habitat.

Satochi and satoyama are areas which have sustained diverse ecosystems through the effort of generations of people living in harmony with nature. The Kurokawa green lands was chosen as one of the 500 "Important Satochi and Satoyama for Maintaining Biodiversity" by Japan's Ministry of the Environment in 2015.

The exhibition was first held in 2016, making this year's annual event its seventh. As previous years, thorough measures will be taken to prevent the spread of COVID-19.

Please come to walk among the natural green lands, and enjoy the artwork which is sure to refresh your body and soul.
We eagerly await your visit

黒川緑地管理協議会

黒川地域の住民が中心となって活動している緑地保全管理団体です。
黒川海道緑地の草刈りや除伐等の里山環境を保全するための取り組みをはじめ、よこやまの道沿いの草刈りなどを行っています。
黒川の魅力をより多くの人に知ってもらうため、川崎市と連携しながら、里山アートの展示を企画・実施しています。

緑と道の美術展出品作家実行委員会

石や木・金属など多様な素材を使用し、黒川地域の里山風景を活かしたアート作品を制作するアーティスト自らが実行委員となり、出展作家や作品の調整などを行っています。

アンケートご協力のお願い

本日は緑と道の美術展にお越しいただきありがとうございました。
今後のより良い運営に役立てていきたいと考えておりますので、
右のQRコードより、アンケートのご協力をお願いいたします。
アンケート用紙は、アンケート回収ボックス（写真参照）にご投稿
ください。

アンケート回収ボックス

1 藤巻 瞬 FUJIMAKI Shun

不自然に自然で

natural / un natural

ポリエステル

きちんとした身だしなみで。
体調管理も大切に。くれぐれも
問題は起こさないように …。

2 さとやまびと SATOYAMABITO

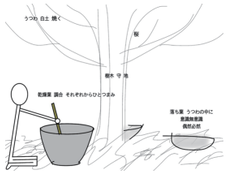
木の葉

leaves

里山の木の葉

緑地に繁茂するアズマネザサを円形に刈り込みます。
そこに秋の葉が落ちます。
落ち葉を隣接する木の枝を組んだ四角い囲いに積み入れておくと次第に腐葉土になります。
さとやまびとによる共同制作・作品といたします。

3 WANI WANI



星に生きる

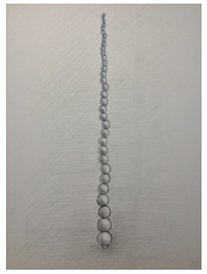
live here

白土（陶芸用粘土）

@1WANIVERA

11/13　14:00〜15:00
パフォーマンスぜひ見に来てください！

4 田中 俊之 TANAKA Toshiyuki



天筍

The glass shoot

ガラス

光をあつめて結露させたら。

5 大塩 博美 OSHIO Hiromi

くぎをさす

Yellow Air

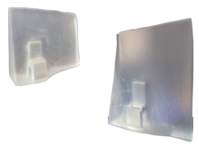
鉄

地球の中に人がいること

地球の中にモノがあること

+ α

6 奥野 美果 OKUNO Mica



かくれんぼ

hide and seek

鋳造ガラス

MicaOkuno

林の中にそっとたたずむ
ガラスを通して光が見せる陰や影
ガラスのなかに潜んだかたちが
光を通して浮かんだり歪んだり

7 大谷 桜子 OHTANI Sakurako

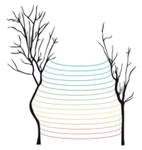
うさぎ

RABBIT

陶

大きなうさぎがいたらいいと思った。
世界がもっと救われると思った。

8 内海 仁 UTSUMI Hitoshi



谷戸の風

The wind of YATO

毛糸

風を見ることは、その土地を知ることのひとつです。
その土地を知ることで、少し賢くなります。
少し賢くなれば、少し幸せになります。
よって、風を見れば、少し幸せになります。

黒川里山アートプロジェクト

緑と道の美術展

in 黒川 2022

ルートマップ

9 加藤 治男 KATOH Haruo

森の人　共に歩く

Homo Forest　Walk with

木材、枝　他

色彩の小道をゆっくりと歩いてください
森を出て草原を歩き始め地球上に広がった
我々の祖先のようにどこまでも歩き続ける

10 菅原 陸 SUGAWARA Riku

かえるたちのいるところ

The place where frogs are

鉄

意外と身近に潜んでるよ。
この近くにもいるかもしれない…

11 いいじまれいか IIJIMA Reika

寿司が生まれた

Sushi was born

FRP

「ここではないどこかへ行きたい」という曖昧な衝動をテーマに、旅の相棒のような存在として魚と寿司をモチーフに制作した。
この魚から出てくる寿司たちは黒川の自然の中で道標のように進むべき方向を照らしてくれるだろう。

12 長谷川 千賀子 HASEGAWA Chikako

野良の藝術

Art of Nora

竹、麻紐、荒縄

故郷をもたぬと思う都会の民にとっても心の故郷としての里山が、心の奥底に存在しているのではあるまいか。
わたしたちはそこに無意識のアイデンティティー求めている。今回、黒川でのどんど焼きに感銘しつつ制作した。

13 柴田 まお SHIBATA Mao

Camouflage

木材パネル

自然の中で展開される造形物には迷彩模様が施され、そこに存在しながらも、その柄によって形状が見えづらくなっている。
それはそこに確かに有る「つながり」から、改めて、我々が見えている世界を捉え直す。

14 佐藤 英行 SATO Hideyuki

鴉の舞

KARASU NO MAI

木、布

ずるかしこいからすが好きです。
この森にも寝床にしているからすがいるかも。
濡れ羽色の黒マントをまとったあばれからすを木と布で表現しました。
風が吹くと鈴がなります。

15 立川 真理子 TACHIKAWA Mariko

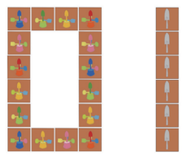
キノコミチ

Mushroom Path

寒冷紗、針金、糸

わたしがキノコだったころ
ミチにはハネがはえ　とびまわっていた。
おひさまのヒカリをあびたホウシがみち
わたしのカラダもフユウしはじめる。

16 栗原 勉 KURIHARA Tsutomu



しゃべる　「あ」、「うん」

Shovel "A", "UN"

木、鉄、プラスチック

お寺の入り口に立つ阿形像と吽形像の口の形が「0」と「1」に見えました。
シャベルを「0」と「1」の形に並べて、「阿」と「吽」を表しました。
「阿」は事の始まり、「吽」は事の終わりが意味されています。

17 衛守 和佳子 EMORI Wakako

月のある夜

Moonlit Night

断熱材 or 木、木の棒とビニールテープ or 毛糸

夕方の空に月を見つけた時の幸福感は、何でしょうか？
一日を無事に終える喜びでしょうか？
日常の時間の流れを、空を巡る月に託してみました。

18 原田 理糸 HARADA Riito

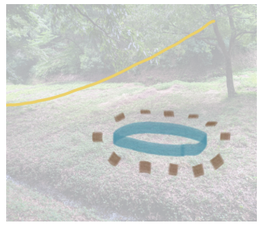
いのちの誕生

birth of life

樺

里山の光と空気を積んでみる

19 村田 優大 MURATA Yuta



月下の交信

Communication under the moon

黒川緑地にある物

土も草も水も絶え間なく動いていて、次会う時には何か変わっている。
そんな変化を感じ、綴り、少し作りながら、一か月の間、私と場所との交信を図ります。

20 間地 紀以子 MACHI Kiiko

赤い森

Forest Red

木、枝

枯れ枝を拾い集めて森を作る。
〇△□をかりて、黒川の湿地をかりて。
夏から秋に。

21 酒井 信次 SAKAI Shinji

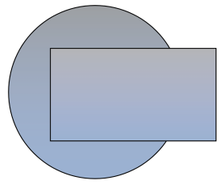
森と人　'22-11

Mori to Hito '22-11

雑紙のみ

森の中をテーマに作っています。
今回は”森と人”

22 宮澤 泉 MIYAZAWA Izumi



まるとしかく

Square & Circle

石

しかくとまるを組み合わせてかたちをつくってみたいと思います

23 くどう ゆうだい KUDO Yudai

わたしはあなた、
あなたをなくしたとき。
あなたはわたし、わたしはうまれる。

I am you, when I lose you. I am you, and I am born.

黒御影石

石を彫る時要らない部分を捨てる、その行為に違和感を覚えた。
自分が彫らなければ、捨てられなかった欠片。
精米する時に出る糠の様に、見た目のために捨てられる欠片。
どうしたら陽の目を浴びるのか、私は模索する。

アート鑑賞後のお勧めスポット

10:00~15:00
休 水曜日、年末年始
川崎市麻生区黒川172
☎ 044-989-5311

平成 20 年 4 月にオープンした JA 直営の市内最大規模の農産物直売所。市内の出荷登録している農家が収穫したての品物を出荷、販売しています。ぜひお立ち寄りください。